

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ前は地域の方(30軒くらい)に、ホームの取り組みを記入したチラシをポスティングしていた。高齢者が多い地域であり、今後も認知症ケアを含めて発信していくと共に、子ども達との交流方法も検討していく予定である。	ポスターの掲示やチラシのポスティングは今後も継続していく。保育園との交流は、コロナ禍の影響で途絶えてしまっているため、状況を見ながら再開させたい。	行事や消防訓練等、地域の方の参加を促せるようなチラシやポスターを作成する。近隣保育園との交流は、コロナの情勢が落ち着けば再開する予定である。	6ヶ月
2	28	今後もセンター方式等も参考にしながら、厚労省23領域を網羅すると共に、生活歴や心身状況(ADL・IADL)のできそうな事、各活動の要望、行動障害の原因等の記録をアセスメントに増やし、介護計画に繋げていく予定である。	アセスメント情報を補足し、様々な情報を把握した上でプランに反映させる。	個別性を生かした細やかな情報も記載・把握した上で支援を行い、適宜追加や修正をしながら現状に即したプランとなるようにする。	6ヶ月
3	37	ホームの裏山のソーラーパネルの数が増えている。今後も土砂災害の危険性などの確認を行うと共に、BCPの策定に取り組まれていく予定である。	感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供される介護施設・事業所における業務継続計画(BCP)を策定する。	2022年度中に、BCPを策定する。また、敷地内にライブカメラを複数台設置する。カメラの専用アプリでスマホからライブ映像が確認できるため、災害発生時にもホーム周辺の様子をいち早く確認出来るようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月